

會 告

本會報は本年度から二回發行の都合となつて本號はその第二次會報です。そして豫算當時に比較して經費の嵩騰が甚だしいので遺憾ながら本號は豫定の報告を收むるおどが出来ない様な小冊とありました。

本年十月本校創立十週年紀念に際しては校友會雜誌紀念號を發行の都合故振つて御投稿下さる様委員から希望申出がありました。右により本年七月發行の同窓會報と十二月發行の校友會雜誌とは特に廢刊となるかも知れませんからお含み下さい。

昨年八月以降死亡された會員は左の通りで夫夫香奠として左記の金額を添へて弔詞を送つて置きました。御受取を兼ねて御報告致します。

故栗原實次君香奠 (大正八年九月)

貳圓宛 大箸 政平

壹圓五拾錢宛 小川 保

壹圓宛 久保田嘉一郎 岡部 彌平

福田磯之助

五拾錢宛

佐藤 尙雄

須田 今三

松村 季美

飯島 正胤

八木 誠政

加美 好男

中澤 勝也

栗林 悦

寺島 親雄

林 周藏

唐澤 正平

平澤 勝

穂坂 小牧

中山 鑑一

古山 宗八

山口 博輔

花岡 作彌

吉川伊太郎

市村 幹司

田浦 準

倉澤 美徳

小見 益男

小林 國造

三輪 愿

清宮 保

菊田 恭一

工藤二三

吉村 眞作

小林 笑保

中島靜太郎

佐藤 國一

久保田正樹

高島 秀男

戸倉 八峯

須田 圭二

小林 庸

蒲地 深

吉澤 武夫
須田國之助
篠田平三郎
原田 兵衛

白澤 幹
栗原 茂
近藤 正巳
森 干城
松澤 德榮
戸田 勝一

貳拾五錢宛
今井 衷

貳拾錢宛
朝長 勝治

合計金貳拾九圓四拾五錢

內禱 貳拾九圓 贈群馬縣佐波郡島村栗原貫平氏(實父)

貳拾錢 爲替料

拾 錢 書留料

故大塚成幹君香奠 (大正八年九月)

參圓宛 田中 一男

貳圓宛 遠藤 文平 松井 清三

水島由太郎 井上 克巳

大箸 政平 高田茂重郎

壹圓宛 向山 隆福 稻石榮太郎 中澤 忠

坪井 作平 花岡 作彌 土岐 宣治

松村 季美 清水達太郎 伊藤 蕪

鶴田 定平 小林 茂雄 甲斐 孜

加藤德四郎 田口 敏夫 伊藤 柳作

篠原 善次 秋山 俊興 山本辰五郎

豊野 正巳 工藤 二三 鈴木 誠一

丸山 忠良 小林 茂樹 小澄 晋

七拾錢宛 朝長 勝治 菅澤 隆三 飯島 正胤 中澤 勝也 篠田平三郎

五拾錢宛 加美 好男 原田 兵衛 栗林 悅

田浦 準 矢田部忠吉 戸田 勝一

倉澤 美德 高木 三治 唐澤 正平

小見 益男 林 新一 川合軍之助

清宮 保 湯川 秀夫 松澤 德榮

吉川伊太郎 福谷朝太郎 大町 省三

蒲地 深 吉澤 武夫 穗坂 小牧

絹村 貢 小川 保 須田 圭二

參拾錢宛 栗原 茂 近藤 正巳 曾山 直高

貳拾五錢宛 今井 衷

合計金五拾九圓六拾五錢

內禱 五拾九圓 贈東京府下高田村鴉山一五一〇

大塚由成氏(實父)

參拾錢 爲替料

拾 錢 書留料

浦野英一君香奠 (大正八年十一月)

參圓宛 山口 貞周 小山秀次郎

貳圓宛 市川 清男 大箸政平外三龍社一同

三浦八郎君香奠 (大正八年十一月)

貳圓宛 大箸政平外三龍社一同

壹圓宛 福田礦之助 久保田嘉一郎 小山秀次郎

八拾錢宛 小林 輝一 佐藤 國一 川戶 料

長瀬 深見

五拾錢宛 居相 泰一 荻原 孫三 小山 久一

式田定千代 三輪 歷 小川 保

原田 侃 永井 榮 片岡清次郎

加美 好男 中島靜太郎 糟谷遠三樓

手塚 雄一 須田 今三 石川 健丸

栗原 章 吉澤 武夫 日比野一夫

山邊 吉郎 白澤 幹 峯村 壽命

荒牧伊勢美

參拾錢宛 影浦 年丸 大田愼一郎 曾山 直高

竹內 清 市村 幹司

合計金貳拾壹圓參拾錢也

內譯 貳拾壹圓 贈岩手縣東磐井郡薄衣村字鴨地

三浦富次郎氏(實父)

貳拾錢 爲替料

拾 錢 書留料

壹圓五拾錢宛 岡 泰助

山邊 吉郎 長池 遊龜 的場 小六

川戶 料 湊山 喜三 小山田啓三

原 英三 吉田 榮治 藤澤 千陰

手塚 雄一 中村 吉男 石川 健丸

五拾錢宛 小林 輝一 久保田嘉一郎 小野 正男

居相 泰一 荻原 孫三 宇都宮休一

小山 久一 三輪 歷 中島靜太郎

原田 侃 永井 榮 後藤 榮

糟谷遠三樓 竹內 清 櫻井 吉利 吉澤 武夫

後藤 宰一 白澤 幹 峯村 壽命

日比野一夫 野本 啓藏 藤井 周藏 武井 克己

古東 幹太 眞包 新 福島 新吉

四拾錢宛 長瀬 深見 太田愼一郎 曾山 直高

參拾錢宛 影浦 年丸 市村 幹司

合計金四拾壹圓六拾錢也

內譯 四拾壹圓 贈群馬縣碓氷郡磯部村大字東上磯部村

浦野茂三郎氏(實父)

貳拾錢 爲替料

拾 錢 書留料